

ないのだが運があるのは事実で、例えば同じ会場の右から回るか、左から回るかによっても運命を左右するわけである。何よりも辛いのは、せっかく出会ったお宝を目の前で奪われることである。

「あと5分早くその品に出会っておれば自分が購入できたのに」というシーンは実は結構あるもので、かえって先客の購入シーンを目の当たりにしないことのほうが精神上幸せとも思える。私も幾度となく、目の前で超格安のオールドノリタケを逃してきた。しかし、逆に言えば自分が手に入れたお宝を横で悔しい思いもしている人がいることを考えるとお互い様だし、ここでは、むしろ後に尾を引かないようにキッパリ切り捨て、現実にお宝が今日も存在している事実のみを再認識して、次のチャンスの意欲にするぐらいの気持ちが必要である。といっても生身の人間なのでなかなか容易なことではないですが・・「悔しい～です!!」

というわけでここまで、トレジャーハンティングとはどのようなものか簡単にお伝えしたが、以降、先日の仕入れの旅の実体験を元にレポートしたい。

オールドノリタケを探す上である程度の効率を求めるためには、やはりアンティークショウやフェアールに行くことをお勧めする。このような催しは規模の大小、グレードの優劣、当然催事期間があるもののメジャーな催しであれば全米より多くのアンティークディーラーが訪れ膨大なアンティークを短期間で見ることが出来るのがメリットである。昨年に引き続き今回も(5月11日～17日)訪問したプリムフィールド(マサチューセッツ州)はトレジャーハントを語る上でははずしえないスポットである。私が、初めてプリムに訪れたのは、1996年になるが今なおその勢力は衰えることなく、不況も諸共せず非常に多くの人でにぎわっている。

プリムはボストンより西に約70マイル(約110km)の普段はのどかな牧草地帯が広がるほんとに小さな町だが、年間3回(5・7・9月)全米でも屈指のアンティークショウが開催される。その数、約5000店、今年で51年の歴史を持つ。毎回火曜日から日曜日までの6日間、アウトドア(屋外の牧草地)で開催される。

おおよそ17件のプロモーター(主催者)があり、6日間連続して開催する会場もあれば、曜日と時間をずらして1dayのみ開催される会場がある。

会期中には、世界中からアンティークディーラーやその道のコレクターがトレジャーハンティングのために訪れる。まさしく全米一のアンティークのお祭りである。

5月10日(火)

今回、仕事の都合で火曜日の夜のフライトでボストンに到着。本来なら前日の月曜入りが好ましいのだが・・・致し方ないところである。空港に到着後レンタカーをPIC UPし、いざプリムへ・・・会期中のプリム近郊のホテル

は、非常に込み合い高額なため、あえて離れた町に宿泊するのが肝である。過去にホテル探しに難航し致し方なく高額なスイートルームに泊まったことや・・・結局、見つからず車中泊という苦い経験がある。

空港から車で2時間無事ホテルに到着。明日は、4時起きのためすぐさま就寝。

5月11日(水)

午前4時起床。この業界の朝は早く、特にアウトドアの露天市は夜明け前に懐中電灯持参というのが通例である。トレジャーハンターの朝も早く、「早起きは三文の徳」で人より早くお宝を見つけるために行動開始である。といっても・・・経験上・・・自己を納得させるための早起きと最近では考えてしまうことが多くなったが・・・外に出て、驚く!あいにくの小雨である。露天市の場合、雨は致命傷であり出品者はもちろん商品も減少傾向になり、初日から厳しい展開が考えられる。

この日は、午前6時に1つのマーケットが開くため早々に会場へ・・・周辺の道路を始め便利な近隣の駐車場は少し時間が遅れると非常に混雑するため何事も先手を打つことも三文の徳の一つである。

小雨で非常に寒い天候にもかかわらず、早くも会場前には多くの人たむろしており、熱気が伝わってくる・・・皆それぞれの思いを胸にハンターの1日が始まろうとしている。

車を所定の場所に置き、小雨の降る中、昨日、OPEN済みのマーケットのチェック、6時OPENのマーケットに参加、開場後しばらくして当クラブメンバーの山崎ご夫妻に偶然にもお会いすることが出来た。また、知り合いの同業者さんにも数名お会いし、お互いの検討を祈りつつ、早足で回る。購入した品々はバックが一杯になると車に運び、また、仕入れ・・・次に9時・12時にOPENするマーケットに参加する傍ら昨日OPEN済みのマーケットにも足を運ぶ。

膨大な量の品々があり、中には到底アンティークと呼べないUSEDのガラクタ品やジャンク品など玉石混合である。これらの中からお目当ての品を探すのは至難の業である。

午後3時、ホテルに戻るまで時間が少しあったので、車で東に30～40分ほど走った、アンティークモールがある近郊の町へ移動、この町には中規模なアンティークモールが3件あるのだが、時間的に全て回るのが困難な為、とりあえず2件を目標に早足で回る。結局この日は会場・モールとも心に残るお宝といえる大物に出会うこともなく、通常の買い物をするにとどまった。